

川口町建設企業課

調査日：平成 16 年 11 月 29 日（月）

班：道路ネットワーク班

分類別：復旧・復興状況

キーワード別：一般道路、交通ネットワーク、輸送

調査結果

(1)震災直後の状況（初動体制・情報収集等）

- ・地域防災計画では一定以上の震度で職員は自動招集となる。
- ・土曜であったが 7/16 豪雨被害関連の業務で 3 名の職員が残っていた。一方で多くの職員は町外にいて車で戻るができなかった。21 時段階で職員は半分もいないであった。
- ・初動でどこを見に行けばよいか分からない状況であった。道路も寸断されているため足で情報を稼ぐより他はない。道路の状況も刻一刻と変化するため、難しい。
- ・翌日朝からまずは家屋の被災調査が始まった。道路の被災状況の調査は 27 日にとりあえず写真だけを撮りに行ったような状況であった。まずは食料・水の確保が先決であった。
- ・1 日に 1 回は通行可能性の確認を実施した。車 1 台で巡回していた。

(2)応急修復の実施状況

- ・町の建設業協会（6 社）にとにかく 1 車線の確保を依頼して、概ね 1 週間後には通れるようになった。
- ・除雪は、必要性を判断しながら、通常とは異なる体制で実施する。箇所数ではなくサービスレベルを下げることになるだろう。
- ・地方道路交付金が災害復旧に使えることになったが、手続きが面倒なので 2 箇所に限定した。
- ・原形復旧は数年かかる。

(3)交通規制・管理の実施状況

- ・川口町では国道 17 号が街中を通過しているが、幹線と生活道路の機能を果たす状況にある。そのため、通過交通対応が必要である。